

研修センター便り

No.7 後志教育研修センター

平成26年12月18日 発行

TEL0136-22-1337

FAX0136-22-2681

「大量退職・大量採用の時代に向け～センターの使命を問う～」

最年少でノーベル平和賞に輝いたマララ・ユスフザイさん。受賞時における彼女のスピーチに、世界中の人達はくぎ付けとなり賞賛の声を発しました。そのスピーチの中には、2013年7月、国際連合本部において語られた、あのフレーズが再び登場しています。

「One child, one teacher, one pen and one book can change the world. Education is the only solution. Education First.」

「1人の子ども、1人の教師、1本のペン、そして1冊の本が世界を変えられる。

教育こそがただ一つの解決策です。教育を第一に」

未だ記憶に新しい方も多いかと思えます。教育に携わる者はもとより、この言葉は多くの人達を魅了しています。それは一つ一つの言葉が単に知識として得られ語られたものではなく、彼女の苦しい経験の中から生まれた智慧の伏流水だからです。彼女が言うように、教育は極めて重要です。中でも「教育は人なり」といわれるように、教職員に対する期待は、いつの時代においてもすべてを超越しています。このような状況下において、教職員の大量退職の時代が既に都市部を中心に始まっています。当然、大量採用の時代ともなり、若手教職員の占める割合が必然的に増加します。

若手教職員への指導的役割を果たすミドルリーダーの育成や組織的な校内研究に取り組む風土、学校文化の創造が喫緊の課題となってきます。このような変化を鑑みた時、当センターにおけるビジョンは一層明白となって



まいります。今一度、設置目的である『後志管内の市町村が共同して行う「教育に関する研修」及び「調査研究」を実施する』ことの意味を、未来を予見する視点から改めて問い直し、問い続けることが大事かと考えます。そして教育の専門機関としての力量を一層高めていかなければとの思いを強くしているところです。研修講座事業については、今後の教育の方向を的確にとらえることに加え、直後アンケートや2か月後アンケートを基に次年度の計画を立案し、第3回組合教育委員会に提案しております。一方調査研究事業においては、2つの委員会における研究内容を年明けの1月9日（金）に広く教育関係者に呼びかけて報告する予定であります。裏ページに詳細を載せておりますので、どうぞご参集いただき、ご意見・ご指導賜れば幸いです。